

研究所だより

第389号
2018年 7月12日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“名も知らぬ 遠き島より 流れ寄る 椰子の実一つ
故郷の岸を離れて 汝(なれ)はそも 波に幾月(いくつき)
旧(もと)の木は 生(お)いや茂れる 枝はなお 影をよなせる”
『椰子の実』 作詞：島崎藤村 日本の歌曲(1936)



～梅雨が明けました！～

暦の上では半夏生(2日)、小暑(7日)が過ぎました。「この日(小暑)から『暑中』に入り、暑さが日増しに加わり、梅雨明け前のため台風に見舞われることも多い」と言われています。10日には高知県も昨年より3日早く梅雨明けが発表されましたが、過日の“西日本豪雨(7月豪雨)”は西日本を中心に各地に甚大な被害をもたらしました。1日も早い復旧を心からお祈りします。

各学校では、学期末を迎え、まとめ学習、試験、参観日等で多忙な日々をお過ごしのことと思います。くれぐれも健康に留意してお過ごしください。

「命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる～」 講演会 講師：腰塚勇人さん

6月26日(水)清水小学校の清水っ子劇場にて、市内全小学校5、6年生を対象に、講師に腰塚勇人さんをお招きして「命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる～」の講演会が開催されました。

腰塚さんは、最初に、自己紹介の中で「スキー中に転倒し、頸椎を骨折する大けがを負ってしまったこと。全身が深刻な麻痺状態の恐怖と絶望の中、家族や同僚の先生や生徒、病院の医師や看護師など、周りで支え励まし、勇気を与えてくれた人たちのおかげで、リハビリを頑張り社会復帰することができたこと。そして『自分の命も他人の命も、傷つけるためなんかに使ったらダメだ。命は自分だけのものじゃないんだ。子どもたちの命を守りたい。』との思いが強くなり、先生を辞めて以来全国を回り、今日で1519回、高知県は86回目の「命の授業」を続けています。」と熱く語りかけてくれました。紆余曲折しながら自分の命があらゆるものに「助けられ、生かされている」ことに気づいたことをきっかけに体の一部に障害を抱えながらも感謝と共に生きようになり、自分を受け止め、受け入れることで「命の喜ぶ生き方～5つの誓い～」へとたどり着いたそうです。そして、二つの言葉のプレゼントを子どもたちにしてくれました。一つ目は「ドリー夢メーカー」です。自分のために、そして周りの仲間や友達のために、ドリー夢メーカーを生きてください。ドリー夢メーカーには別名があります。一緒にいると、やる気が持てるパワーチャージャー。辛くても、最後まで見放さず一緒にがんばってくれる人、リスクを一緒にになって負ってくれる人、リスクテイカー。ホットマンは、「助けて」「つらい」が言える人。心がほっとする人。ON人は、やる気のスイッチをオンにしてくれる人、などです。

生まれてから今日まで、君たちにとってのドリー夢メーカーは誰ですか。生まれてから死ぬまで誰の手を借りずに生きている人間はいない。気づいていないだけで、毎日たくさんの人の助けや思いを受けて生きているのです。

毎日眠れない私に「一人で苦しむのを止めてください。今は『助けて』を言っています。」と教えてくれたのは看護師さんでした。「『助けて』は弱い人間の言葉でも、カッコ悪い言葉でもない。周りの人に助けてもらって元気になったら、今度は周りを助けてあげられる、そんな生き方をすればいいじゃないですか。私は、腰塚さんと一緒にがんばり

たいです。何でも言うてください。受け止めますから。」と看護師さんが言ってくれたことで、今は「助けて」を言おう。その代わりにちゃんと応援してもらえる生き方をしよう。顔しか動かないけれど、なるべく笑顔でいる。そして「ありがとう」の言葉を使うと決めたそうです。

悩みを伝えることは勇気がいるけど、言葉にしなればわかってもらえない。君たちの周りにも、ドリー夢メーカーは必ずいます。本当に辛い時や苦しい時は、言葉にしてください。自分の命を傷つける、その選択肢だけは絶対使わないでください。

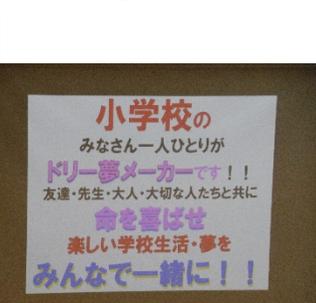
二つ目は「命の喜ぶ生き方」です。自分の命の使い方は？この助けてもらった命を今からどう使うべきだろう。そこで自分なりに出した答えが、自分と周りの人のドリー夢メーカーになるってことです。そして自分の命を喜ばせ、周りの人の命を喜ばせるために使ってください。命は喜ばせるために使わなきゃダメです。その具体的な行動が『5つの誓い』です。

『命の授業』5つの誓い

- 『口』は、人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう。
- 『耳』は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
- 『目』は、人のよいところを見るために使おう。
- 『手足』は、人を助けるために使おう。
- 『心』は、人の痛みがわかるために使おう。

私が辛くて苦しい時、私に生きる力を与えてくれた、勇気を与えてくれた周りのドリー夢メーカーが私にしてくれたことが、この5つでした。「自分にできないことは、他人にもできない。自分にできないことを人に言ったところで、他人はその言葉を受け止めない。周りの人を大事にしたいのなら、先ず自分を大事にしなければならない。自分のことを大事にすること、それが私の中では自分の命を大事にすることであり、自分の人生を大事にすることそれが私の内側のドリー夢メーカーと生きる時間を長くすることである。」と私の中でそう繋がりました。自分の命の喜ぶ生き方がこの5つの誓いなのです。言葉はすごい力を持っています。使い方を誤れば、人を傷つけ、命まで奪ってしまうのです。自分がどんな言葉を使うかは、自分で決められます。言葉が変われば、行動が変われば、最後は自分の人生が変わる。だから言葉を大事にしてください。今日の話聞いて、何かを感じたら、自分の命を喜ばせるために動いてください。やらなかったら、動かなかつたら今は何も変わらない。君たちの中のドリー夢メーカーは君たちを幸せにするためにいるんだ。君たちの夢をかなえるためにいるんだ。そんな生き方を君たちにしてほしいと思います。

暑い教室の中で真剣に聞き入る子どもたちに、「今日、命の授業ができて本当にうれしかったです。君たちのおかげで、私の命が喜びました。君たちは私にとって最高のドリー夢メーカーでいてくれました。」と最後まで熱く、力強く締めくくってくれました。



～あすなろネットワークの取組～

6月28日(木)第2回あすなろネットワークを開催しましたので研修内容について報告します。講師に山中智子チーフ(県教育センター)をお迎えし、『引き継ぎシート・支援引き継ぎシートの活用』を中心に講話・演習が行われました。

〈主な研修内容〉

～発達障害等の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援をつなぐ～
 個別の支援計画・つながるノート → 個別の指導計画(学校での学習に関する計画)
 教育支援計画

1. 引き継ぎシートについて

◆校種間で支援をつなぐ仕組みの構築に関すること

発達障害のある幼児への対応は、できるだけ早い段階での気づきや適正な支援を行うことが重要です。気になる幼児への課題に気づき、適切な支援を考えていく個別の指導計画を作成し、日々の実践を充実することが大切です。この気づきが、発達障害等のある幼児への早期の支援につながります。

一貫した支援の必要性

- ・障害のある子どもにとっては長く、切れ目のない支援が必要。
- ・支援の内容は個々の特性やステージ(人生の区切り)により違ってくるが、一貫した方針が必要。
- ・いずれ訪れる成人期を見越した支援が必要。
- ・「学校」という場を離れ、「社会」で生活することをイメージしておくことが必要
- ・それぞれのステージをつなぐ「つなぎ」が必要。

ライフステージを通した支援が必要

引き継ぎシート → 同じ方向性を持って
 支援を続けていくことが必要!

支援プラン: 心配事など具体的に記載する。



2. 個別の指導計画作成のポイント1

■目標はポジティブに!

- ・肯定的な表現で、表記してみましょう。
- ・子どもの現実に目を向け、実現が可能な(手立てを工夫すれば達成できる!といった見通しを支援者が持てる)目標を立てる

3. 個別の指導計画作成のポイント2

■具体的な実態把握

- ・子どもの実態の欄には、思い込みや思いつき、勝手な推測による記述は避け、目の前で起こっている事実を書き表す。
- ・課題(できていないこと)だけでなく、どこまでできているのか何があればできるのかを記録する。

4. 具体的な実態把握のため行動を理解しよう!(演習)

目に見えて(注)	+	絵を描く	歌を歌う(注)
耳に聞こえて		カートを押す	運ぶ
数えられ		手を洗う	食べる

*能動→行動である 否定→～しない、～できない(行動ではない)

(注)「歌を歌う」・音楽が好き → 笑顔で、体でリズムを取りながら歌う(行動が見える)

- ・個別の指導計画: 具体的に記載しよう(演習)
- ・リフレーミングの活用(演習)

引き継ぎシートを活用することは、校種間のつながりを強化すること!

- ・引き継ぎシートの作成
 全ての枠を埋めていく必要はない。伝えたい必要な部分を記入。
- ・引き継ぎ会の実施
 児童生徒に関わっている先生が集まって引き継ぎ会。
- ・引き継ぎシートを活用しての個別支援計画の作成
 これも、全て完成させるのではなくてもよい。
 わからない部分は、問い合わせてみる。

高知県教育委員会から、平成29年3月に右記の冊子が発行されています。各校での取組に是非活用してください。



◇教具の貸し出しをしています!◇

教育研究所には下記のような「貸し出し手作り教具」があります。

「かけ算九九カードゲーム」(2年生10セット)、「ローマ字カード」(3年生10セット)、「漢字カード」(1年生10セット)です。この教材の共通点は、カードでいろいろなゲームにチャレンジしながら、楽しく学べるところにあります。活用するカードの組み合わせによって多様なゲームができるため、子どもたちは飽きることなく繰り返し学習に取り組めます。班学習等でも活用できます。どうぞご利用ください。



「かけ算九九カードゲーム」

「ローマ字カード」

「漢字カード」

★書籍の紹介★

～ご利用をお待ちしています～

○リーダーズ・ライブラリⅡ

Vol. 3 「Q&A新教育課程を創る管理職の条件」

○「特別の教科 道徳」の評価 通知表所見の書き方&文例集(小学校低・中・高学年)日本標準

○キーワードでひく小学校通知表所見辞典「道徳の評価追補版」さくら社

★DVDの紹介★

[平和教材]

○「おこりじぞう」(人形アニメーション29分) 東映株式会社

わらいじぞうは、おこりつづける。核兵器がなくなり、戦争がなくなる日まで。

★市民図書館所蔵DVDの紹介★ (図書館: 0880-82-0305)

貸し出しができますので、各校での平和学習教材としてご利用ください。

○「一つの花」(アニメーション)

○「ちいちゃんのかげおくり」(アニメーション)

○「小さい潜水艦に恋したでかすぎるクジラの話」(アニメーション)

○「この世界の片隅に」(アニメーション)

○「火垂るの墓」(アニメーション)

